

教科名	科目名	単位数	授業形態	系統	履修年次
芸術	書道Ⅱ	2	選択	文系	2

教科書（発行所）	書道Ⅱ（教育出版）
教科書以外の教材	

目 標	<p>1 書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付けるようにする。</p> <p>2 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。</p> <p>3 主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</p>			
	学 期	学習事項	学習内容	考查等
学習計画	1 学期	<p>オリエンテーション</p> <p>書へのいざない</p> <p>漢字仮名交じりの書</p> <p>古典に学ぶ</p> <p>創作</p> <p>漢字の書の学習</p> <p>篆書の古典に学ぶ</p>	<p>臨書で何を学び、創作でどのように自己表現をしていくのか、中国や日本人の書鑑賞を考える。</p> <p>書道Ⅰで学習した漢字や仮名の古典に基づき、漢字と仮名の調和や紙面構成の効果を理解する。</p> <p>目的・意図に即した線質や用具・用材を工夫し、感じたことを話し合いながら鑑賞と表現の能力を深める。</p> <p>「石鼓文」「金文」の鑑賞・臨書を通して、篆書の用筆・運筆を学ぶ。文字の成り立ちを理解するとともに、身の周りにある篆書を鑑賞し、多彩な造形美を味わう。</p>	<p>作品</p> <p>作品</p> <p>ファイル提出</p>
	2 学期	<p>隷書の古典に学ぶ</p> <p>草書の古典に学ぶ</p> <p>行書の古典に学ぶ</p> <p>楷書の古典に学ぶ</p> <p>生活の中の書</p>	<p>「木簡」「石門頌」「乙瑛碑」の鑑賞・臨書を通して、書風の変化を学ぶ。隷書の運筆や字形の特徴を理解し、多様な隷書の美を表現する。</p> <p>「十七帖」「書譜」の鑑賞・臨書を通して、草書の成立の理解を深め、真跡と拓本の違いを味わう。</p> <p>「祭姪文稿」の鑑賞・臨書を通して、作者の心情や時代背景を理解し、率意の書の魅力を味わう。平安の三跡や北宋の三大家の書を鑑賞し、多彩な書風を学ぶ。</p> <p>半紙展に向けての作品制作</p> <p>東晋や北魏の楷書を比較鑑賞・臨書を通して、楷書の成り立ちと用筆・運筆の特徴を理解する。</p> <p>石碑や店の看板・包装紙など、身近な書を鑑賞し、書の表現効果を考える。年賀状制作や表札作りに活かす。</p>	<p>作品</p> <p>作品</p> <p>作品</p> <p>作品</p> <p>ファイル提出</p>
	3 学期	<p>仮名の書の学習</p> <p>創作</p>	<p>中国の古典と日本の古筆を鑑賞し、空間の美意識について考える。古筆に用いられる様々な料紙を鑑賞し、墨流しやぼかし染めを体験する。三色紙の鑑賞・臨書を通して、散らし書きの特徴を学ぶ。好きな俳句や和歌を自らが作成した料紙に散らし書きで表現する。</p> <p>自らの思考や感動を表現するために、書風や用具・用材、紙面構成などを工夫する。</p>	<p>作品</p> <p>作品</p> <p>ファイル提出</p>
授業の受け方・学習に向けてのアドバイス等	<p>1 移動教室のため、時間に余裕を持って行動し、教科書や用具をそろえて席に着きましょう。</p> <p>2 用具は大切に扱い、常に整理整頓を心がけましょう。</p> <p>3 プリントは板書をそのまま写すだけでなく、説明をよく聞いてメモしたり、自身の考えや気づきを書き込んだりする習慣をつけましょう。</p> <p>4 作品の制作過程や鑑賞活動も評価の対象です。互いにアドバイスをするなど、粘り強く作品を書き上げる姿勢をもって取り組みましょう。</p>			

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
	<p>書の表現の方法や形式、書表現の多様性について理解を深めている。</p> <p>書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための技能を身に付け、表している。</p>	<p>書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりしている。</p>	<p>主体的に書の表現及び鑑賞の創造的な活動に取り組もうとしている。</p>
評価の方法	<p>定期考査は行わず、次の4点をふまえて総合的に評価します。</p> <p>1 出席・学習活動への参加状況（主体的に学習に参加し、粘り強く取り組んでいるか。）</p> <p>2 作品（書体や書風の特徴を捉えて表現出来ているか。用具・用材や字形、構成などを工夫し、意図に基づいた表現が出来ているか。）</p> <p>3 プリント（自身の考えや気づきが書かれているか。制作過程や改善点、自己評価など学びの過程が分かる内容となっているか。）</p> <p>4 そ の 他（道具を大切に扱っているか。教室や棚の整理整頓が出来ているか。）</p>		